

令和7年3月

長崎県教育委員会障害者活躍推進計画の令和6年度における取組状況を下記のとおり公表いたします。

I 障害者の雇用

1. 障害者雇用率（令和6年6月1日時点）

分子：法定雇用障害者数の算定の基礎となる障害者の数

（ ）内の人数は実人数

分母：法定雇用障害者数の算定の基礎となる職員数

	法定雇用率 (%)	報告値 (%)	算定基礎となる数値 (人)
教育委員会	2.7	2.16 (昨年 2.13)	$\frac{200.0 (165)}{9,264.5}$

[障害種別の人数] （ ）内の人数は実人数

	身体障害者	知的障害者	精神障害者	計
教育委員会	154.5 (118)	12.5 (14)	33.0 (33)	200.0 (165)

2. 令和6年度の障害者採用状況等（令和7年3月末時点）

① 正規職員の受験状況

	応募者数	受験者数	合格者数	倍率
障害者対象 (身体障害者・知的障害者・精神障害者を対象)	16名	16名	4名	4.0倍

② 採用数、退職者数

	採用数	(内訳)			うち 退職者 数	(内訳)	
		身体	知的	精神		身体	精神
正規職員	2名	2名	0名	0名	0名	0名	0名
会計年度 任用職員 等	5名	2名	3名	0名	0名	0名	0名
計	7名	4名	3名	0名	0名	0名	0名

③採用された職員の業務内容

[正 規 職 員]

- ・ 教員としての業務（授業実施、実施準備 等）
- ・ 教育事務としての業務（給与、旅費、福利厚生、物品購入事務 等）

[会計年度任用職員等]

- ・ 各所属における個別業務（文書集発、データ入力業務などの事務補助）
※県立学校における講師、業務補助員、離島地区の県立学校での軽作業を行う事務・現業業務補助職員、特別支援学校で給食の配膳・教材作成の補助等を行う介助業務補助職員などとして雇用
- ・ ワークサポートグループスタッフ（特別支援学校等に配置。配置校での給食配膳補助や事務作業、近隣の学校での清掃等の環境整備業務など）
- ・ 教育事務に係る一般業務（臨時的任用）

II 環境の整備

（１）ワークサポート支援員の設置

知的障害者を対象として、スキルアップを図る場所として設置した特別支援学校のワークサポートグループに、相談支援専門員の資格を有する者や障害福祉事業所の勤務経験のある者を支援員として配置し、知的障害者であるスタッフの指導にあたるなどの支援を実施

- ワークサポートグループを設置する特別支援学校３校に配置
- 派遣先との日程等の連絡調整や業務監督と併せて就労支援等を実施
- 支援体制充実のため、支援員及びグループ長（設置校副校長または教頭）を対象とした研修を実施

（２）業務環境等への配慮

- 聴覚障害者が配置された職場で、筆談器を準備、音声文字変換アプリ（ＵＤトーク）をインストールしたほか、職種別研修の受講の際に、サポート職員を１名配置
- 視覚障害者が配置された職場では、机上用ライトを準備
- 新規に事務職員として配置した学校を県教委職員が訪問し、管理職（校長）及び当該職員と面談を実施

(3) 職員向けの研修等の実施

各課、地方機関及び教育機関等の管理職等及び県立学校の管理職等を対象に、障害者雇用の現状や合理的配慮、障害の特性に応じた対応、知的障害者とともに働くワークサポートオフィスの実例紹介など障害者雇用を推進するための職員研修を実施予定

Ⅲ 障害者活躍推進計画の数値目標の達成状況

(1) 採用に関する目標

項目	令和6年度	令和5年度	目標
障害者雇用率 (法定雇用率)	2.16% (2.70%)	2.13% (2.50%)	法定雇用率の達成 (各年6月1日時点)

<評価方法>

毎年の任免状況通報により把握・進捗管理。

(2) 満足度に関する目標

項目	令和6年度	令和5年度	目標
満足度の評価	82.6%	81.9%	前年度を上回る